

第25回（平成22年度）
商業経済検定試験問題
〔商品と流通〕

解答上の注意

1. この問題のページは2から16までです。
2. 解答はすべて別紙解答用紙に記入しなさい。
3. 問題用紙の表紙に受験番号を記入しなさい。
4. 文字または数字で記入するもの以外はすべて記号で答えなさい。
5. 計算用具などの持ち込みはできません。
6. 制限時間は60分です。

※ 試験終了後、問題用紙も回収します。

① 次の文章を読み、問いに答えなさい。

私たちは、商品やサービスをいつでもどこでも得ることができ、ライフスタイルに合わせた快適な消費生活を営んでいる。そのような食に関する生活に大きな変化が起きている。

まず、勤務形態の変化や女性の社会進出などによって、家族全員で食卓を囲むことが少なくなり、(a)総菜や弁当を店舗で購入し、家に持ち帰って食べるが増えている。また、最近では景気が悪化したことで、節約志向になっている。そのため、スーパーやコンビニエンスストアでは弁当の売り上げが減少しており、弁当の開発や販売にさまざまな対応をとるところが増えてきた。

次に、出費を抑えるために手作りの弁当や水筒を、会社に持っていく弁当男子や水筒男子と呼ばれる独身男性が増えている。(b)各企業では、バッグにすっぽり入るスリムサイズの水筒や、保冷ジェルで長時間冷却できる水筒などを豊富に生産している。それにあわせて、雑貨を取り扱うA店では水筒専門コーナーを設け、約300種類の水筒を揃えている。そのため水筒の売り上げが増加し、弁当箱とセットで購入する人も多い。これに伴い、水筒の入るビジネスバッグの売り上げも伸びている。

また、その一方では、生活における価値観の多様化により、消費行動にも特徴的な傾向がみられ、(c)消費の二極化が進んでいる。この背景には経済の高度化や消費行動の変化があり、ものの充足から生活の質の充実へと転換してきているのである。

問1. 下線部(a)のような食事の形態を何というか、漢字2文字で正しい用語を記入しなさい。

問2. 下線部(b)の効果として、次のなかから最も適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 消費者自身が部品を選んで組み立てることで、独自の商品を簡単に作ることができ、顧客満足度を高めている。
- イ. 商品の付加価値を高めた新しいタイプの商品を生み出すことで、多様な消費者のニーズに対応し、顧客満足度を高めている。
- ウ. 規格化や統一化がしやすい商品を大量に生産することで、商品を安価で提供することができ、顧客満足度を高めている。

問3. 下線部(c)の説明として、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 不景気により、商品自体にこだわりをもつことなく、少しでも安価な商品を購入することで出費を抑える傾向。
- イ. 多くの店に足を運び、時間をかけて商品を比較検討することで、自分にあった商品を慎重に選び出して購入する傾向。
- ウ. こだわりのないものには、安価な商品を選ぶことで出費を抑えるが、こだわりをもったものには出費を気にせず購入する傾向。

② 次の文章を読み、問いに答えなさい。

こんにちの社会では、生活水準の向上により、多様なサービスが、次々に誕生している。例えば、一つの映画館の中に複数のスクリーンをもつ(a)シネマコンプレックス(以下、シネコン)がある。

A社は、11のスクリーンをもったシネコンを運営している。このシネコンは郊外のショッピングセンターの建物のなかにあり、ロビーには次回作品の予告や座席の混雑状況および上映時間などを表示しており、家族や友達との待ち合わせ場所に便利なカフェコーナーもある。

このシネコンは、ショッピングセンターのなかにあるため、家族連れを中心に映画や買い物を楽しむ空間や時間を提供しており、(b)駐車場を共同利用できることも人気の要因である。ショッピングセンター内のレストランやフードコートで映画鑑賞券の半券を提示すると割引きをしてもらえるため、子供から大人まで多くの人たちが利用している。

また、A社は顧客サービスの違いを明確にするために、ペアシートや座席幅が広いもの、サイドテーブルが付いた付加価値の高い座席を導入している。そして、インターネット予約や全席指定・定員入替制による立見解消を実現している。さらに、(c)ポイントカードを利用し、映画を6回鑑賞すると無料鑑賞券と引き替えるサービスも導入している。

このように、私たちの生活は、サービスの向上によって便利で豊かになり、消費者のニーズを満たす社会となることが予測される。

問1. 下線部(a)のサービスの分類として、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 生活情報関連サービス イ. 生活支援関連サービス ウ. 余暇関連サービス

問2. 下線部(b)の効果として、次のなかから最も適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 広大な立体駐車場の共同利用により、映画館の来館者数とショッピングセンターにおける来店者数を増加させる相乗効果がある。
イ. 広大な立体駐車場の共同利用により、大量の商品の搬入がしやすく、物流コストが削減できる効果がある。
ウ. 広大な立体駐車場の共同利用により、たくさんの店舗に多くの従業員を雇い入れ、地域の雇用安定につながる効果がある。

問3. 下線部(c)の狙いは何か、次のなかから最も適切なものを一つ選びなさい。

- ア. シネコンの宣伝効果を向上させる工夫であり、顧客の新規開拓につながる。
イ. シネコンに何度も映画を見に来てもらう工夫であり、固定客の確保につながる。
ウ. シネコンにおける混雑および業務緩和の工夫であり、人件費削減につながる。

③ 次の文章を読み、問いに答えなさい。

わが国の食料自給率は低下し、近年では食料全体の約6割を海外に依存している。それにもかかわらず、わが国の残飯廃棄量の多さは世界の上位にある。そこで食料自給率の向上が求められており、環境への負荷を減らすということが重要な課題となっている。このような状況のなかで、企業におけるさまざまな取り組みはもちろん、(a)環境を大切にしようとする消費者も増えてきた。

残飯を減らす取り組みの一つとして行われているのが、持ち帰り専用容器「ドギーバッグ」による食べ残した料理の持ち帰りサービスである。ドギーバッグとは、食べきれなかった料理を持って帰るのは恥ずかしいので、「犬のエサにする」という言い訳をしたことが名前の由来といわれている。わが国においてもこの持ち帰りサービス普及のため、認知度を高めることが必要である。しかし、ドギーバッグ自体も使うたびに捨ててしまえば環境に悪いものになってしまうため、それに対応した商品が開発されている。

また、(b)わが国ではスーパーで購入した商品をレジ袋に詰めてもらうのではなく、消費者自らが持参した買い物袋に詰めて帰ろうという動きが活発になってきている。そして、おしゃれな買い物袋が欲しいということで、さまざまなエコバッグがバッグ売場にも登場してきた。

このように、(c)近年ではエコの観点から、環境を重視した取り組みが注目され、法律も制定されている。今後は企業や地方自治体における環境に配慮した商品の開発と普及活動がますます求められるようになっていくと想定される。

問1. 下線部(a)に記された消費者を何というか、カタカナ11文字で正しい用語を記入しなさい。

問2. 下線部(b)の主な理由として、次のなかから最も適切なものを一つ選びなさい。

- ア. ごみの削減や、それに伴う温室効果ガスの削減が求められてきたため。
- イ. 不況によって、少しでも購入金額を抑えようとする消費者が増えたため。
- ウ. 独自のバッグを利用することで、商品を詰めやすく持ち運びがしやすいため。

問3. 本文の主旨から、下線部(c)の具体例として、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 特定事業者が飲料や食品などの容器包装の分別収集を行い、再商品化することを義務づける法律が制定された。
- イ. 食品の生産履歴情報や個体識別番号を、その食品の容器包装に表示することを義務づける法律が制定された。
- ウ. 消費者が安心できる消費生活を整備するため、消費者の権利の尊重と自立支援を基本とする法律が制定された。

4 次の文章を読み、問いに答えなさい。

消費者が商品を購入する際の重要な条件として、価格があげられる。価格は、一般的に需要量と供給量とが一致したところで決定する。これは市場における価格決定の基本的な考え方であり、一般的に需要量が①すれば価格は②する。

しかし、わが国において板ガラスやナイロンなどの市場では、(a)市場全体が少数の企業によって支配されており、企業間の状況や相互の関係を認識しながら、価格を決定している。

商品の価格の決め方はさまざまであるが、一般的には、製造業者が製造原価に販売のための諸費用や利益を加えて製造者価格を決定することが多い。かつては製造業者が、メーカー希望小売価格と呼ばれる、あらかじめ設定した標準小売価格によって、流通の各段階における価格維持を図ってきた。

これまでわが国では、この方法が多くとられてきたが、近年では取引の合理化・近代化の観点から価格決定の主導権が製造業者から売買業者へと移行し始め、(b)オープン価格制が広がりを見せてきた。特に、売買業者の多様化と販売戦略における価格競争により家電製品ではこの方法が多くみられる。

価格決定の方法には、さまざまな方法があるが、どのような商品でも価格が安いほど売れるというわけではなく、価格とともに商品の品質や安全性が問われるのは言うまでもない。

問1. 文中の①と②の組み合わせとして、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

- ア. ①増加・②上昇 イ. ①増加・②下降 ウ. ①減少・②上昇

問2. 下線部(a)のような市場を何というか、次のなかから最も適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 独占市場 イ. 競争市場 ウ. 寡占市場

問3. 下線部(b)の説明として、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

- ア. 製造業者が商品について標準小売価格を定めず、売買業者側が売れ行きなどを考慮して自主的に価格を決める方式。
- イ. 売買業者が商品について標準小売価格を設定し、諸費用や利益などの情報をすべて公開した形で表示する価格方式。
- ウ. 取引価格を記入して申し込みを行い、競争により最高価格を提示した売買業者が契約を結ぶことで価格が決定する方式。

⑤ 次の文章を読み、問いに答えなさい。

商品は、人間と同じようにそれぞれの寿命をもっており、短期間で市場から消えていく商品もあれば、長い間販売されている商品もある。この寿命のことを商品のライフサイクルといい、4つの期間に分類されている。

2010年3月に大手電機メーカーのA社は、白熱電球の製造中止を決定した。今までいずれの家庭でも明かりの主役であった白熱電球は、需要が少なくなっている。そして多くのメーカーが生産を縮小・中止しはじめており、このような状況にある白熱電球を商品のライフサイクルでみた場合、にあると考えられる。

そこで照明・電球メーカーの多くでは、白熱電球に代わる照明として、環境性能に優れたLED電球の開発を進めている。LED電球とは発光ダイオードを使用し、通常の電球用ソケットにそのまま取り付けて使うことができ、スイッチを入れるとすぐに明るくなったり、点滅の繰り返しの強いという特徴がある。そのため、企業だけではなく、多くの公共設備にも導入がすすんでいる。さらに、価格を抑えて一般家庭向けに販売するようになってきた。このような状況にあるLED電球は、(a)商品のライフサイクルにおける成長期にあるといえる。

家庭から排出される二酸化炭素が1990年に比べて4割増え、家庭の省エネは急務といわれるなか、最近では、白熱電球に代わるLED電球の利点についての情報が消費者に広く浸透してきた。そして、LED電球の市場は急速に拡大し、照明・電球の大手メーカー各社も相次いで新商品を販売している。一方で、(b)商品のライフサイクルの短期化傾向がみられるため、以前にも増して先を見据えた商品開発を行わなければならない状況となっている。

問1. 本文の主旨から、文中のに入る期間は何か、漢字で正しい用語を記入しなさい。

問2. 下線部(a)の特徴は何か、次のなかから最も適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 販売促進活動によって、需要を喚起する時期であり、多額の費用がかかるため、売り上げは緩やかに伸びる。
- イ. 商品が市場に普及する時期であり、買い換え需要により売り上げは安定的か、または競争の激化により減少する。
- ウ. 商品が市場に受け入れられる時期であり、販売促進活動の効果があらわれ、売り上げが急速に伸びる。

問3. 下線部(b)の一因として、次のなかから最も適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 技術の発展により、利便性が高く、より高品質で多機能な商品が次々に登場するようになったため。
- イ. 企業の販売戦略により、販売期間や販売地域を限定して売り出すことで、消費者の購買意欲をかきたてる商品が増えたため。
- ウ. 安全管理の意識向上により、昔からある知名度の高い、より安心できる商品を求める傾向が強まっているため。

⑥ 次の文章を読み、問いに答えなさい。

テレビは、1950年頃に発売され、その後、高度経済成長期を迎え、冷蔵庫、洗濯機とともに普及した。そして、技術革新によって、白黒テレビからカラーテレビへ、ブラウン管テレビから薄型テレビへと進化している。それに合わせてメーカーも商品開発に努めている。

2003年に地上デジタルテレビ放送が開始となり、薄型テレビが売れ始め、2011年7月のアナログ放送終了を目前に、新型のテレビが開発・発売されている。例えば、(a)液晶のバックライトに発光ダイオード(LED)を採用したLEDテレビや3D映像に対応したテレビなど、生産者のアイデアや、研究開発に基づいた新しい技術により開発されている。このように企業はたえず新しい技術を取り入れた付加価値の高い商品開発に取り組んでいる。

一方、(b)環境に優しい商品開発をすることも重要となっている。消費電力量の削減、部品のリサイクル率の向上、製造段階でのゴミ排出量の削減など、企業努力を重ねている。

また、新しい機能や性能に高齢社会を見据えた商品、バリアフリーの考え方を取り入れた商品も開発されている。さらに、リモコンの文字を大きく表示したり、その文字を指先で認識できるように凹凸がある形状にしたりするように、(c)年齢や性別、障がいの有無などに関係なく誰もが使いこなすことができるような考え方に基づいた設計の商品開発も行っている。

今後も、メーカーは利益の追求だけではなく、いろいろな考え方に立ち、社会に受け入れられる商品開発を行わなければならないであろう。

問1. 下線部(a)に記されたテレビの商品開発について、次のなかから最も適切なものを一つ選びなさい。

- ア. ニーズに基づく商品開発
- イ. シーズに基づく商品開発
- ウ. ウォンツに基づく商品開発

問2. 下線部(b)の具体例として、次のなかから最も適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 多様なニーズに対応するために、多彩な色や豊富なサイズの商品開発を行っている。
- イ. 品質の向上を目指すとともに、廃棄後の解体が容易な商品開発を行っている。
- ウ. ケガや事故が発生しないように、安全性を重視した商品開発を行っている。

問3. 下線部(c)を何というか、カタカナ10文字で正しい用語を記入しなさい。

7 次の文章を読み、問いに答えなさい。

原始社会では、生活に必要な物を自ら生産し、自ら消費するといった自給自足の生活を営んでいた。その後、生産用具や生産方法の発達・改良によって、生産力が向上し、自分たちの消費量を上回る生産ができるようになった。そのような(a)消費量を上回った生産物(余剰生産物)を他の集団と取り替えあうことによって、自給自足では入手できなかった物まで消費できるようになった。しかしこれは、そのつど相手をさがさなければならず、しかも、お互いに欲しい物を持っていなければ成立しなかった。

そこで、(b)条件の一致する相手を見つけるため、特定の場所へ特定の日に持ち寄ることで、より活発に行われるようになった。ところが、それでも物と物の価値に差があり、うまく成立しない場合があったため、誰にとっても等しい価値であるものとして、米・布・毛皮などが貨幣として用いられるようになった。その後、耐久性や持ち運びの利便性から金・銀・銅などの金属が貨幣として使用されるようになり、生産物が商品の性格をもつようになり、売買へと変わっていった。

金属貨幣が広まると、さらに売買はさかんに行われるようになり、(c)社会的分業が始まった。そして、生産者から商品を買取り、消費者へ売り渡すことを専門に行う商人が登場するようになっていった。

江戸時代に入ると、預金や両替の業務を中心に行う者、商品の運送業務を中心に行う者、(d)文書の配達業務を中心に行う者などが現れ、商品の流通に携わる仕事が細分化されていった。このようにして、現代における商業に関わる業務の基礎ができあがっていったのである。

問1. 下線部(a)を何というか、漢字4文字で正しい用語を記入しなさい。

問2. 下線部(b)に記された特定の場所を何というか、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

ア. 宿場 イ. 市 ウ. 陣屋

問3. 下線部(c)の内容として、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 自ら消費することを前提として、品質の良いものを生産すること
- イ. 取引をすることを前提として、自分の得意な仕事に従事すること
- ウ. 社会的身分を確立するために、品質の安定したものを生産すること

問4. 下線部(d)は当時何と呼ばれていたか、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

ア. 問丸 イ. 蔵元 ウ. 飛脚

㉘ 次の文章を読み、問いに答えなさい。

わが国でコンビニエンスストア(以下、コンビニ)が登場したのは1974年である。その後文字通り便利な店として発展し、現在では、総店舗数が4万店を超える規模となっている。

ここまで成長した背景としては、POSシステムの活用による売れ筋商品の品揃えや、(a)フランチャイズチェーンの方式による組織の拡大などがあげられる。また、出店においても(b)特定の地域に集中して出店する戦略を展開することによって、急速に店舗を増やしてきた。

こうした戦略でコンビニは大きく成長したが、現在では店舗数が飽和状態となり、激しい勝ち残り競争が展開されるようになってきている。そこで各社とも、他社との差別化を図るために、これまでにない商品の販売に取り組んでいる。例えば、(c)大手A社では品質の優れたロールケーキを発売したり、店内で調理した作りたての弁当や総菜を販売したりしている。

また、多くのコンビニでは(d)商品の販売だけでなく、コンサートチケットの販売、公共料金の収納代行、ATM(現金自動預け払い機)の設置など、サービスの提供も積極的に行いさらに便利な店となっている。

このようにコンビニは、単に商品を販売するだけではなく、今後はさまざまなサービスを提供する店として、私たちの生活になくてはならない存在へと進化し続けるだろう。

問1. 下線部(a)の加盟店の利点は何か、次のなかから最も適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 仕入れや品揃えなど専門的な知識がなくても、コンビニ経営の意欲があれば本部の指導によって、事業を成功させやすい。
- イ. 本部の指導内容については参考とし、独自の販売方法をとることによって、事業を成功させやすい。
- ウ. 商品の共同仕入れにより安定した品揃えができ、経営方針は独自に行えるので、事業を成功させやすい。

問2. 下線部(b)を何というか、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

- ア. デイラー戦略
- イ. セグメンテーション戦略
- ウ. ドミナント戦略

問3. 本文の主旨から、下線部(c)のA社の狙いは何か、次のなかから最も適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 商品の種類を限定することによって、大量生産が可能となる。
- イ. 他社にはない商品を販売することによって、顧客の来店を誘引する。
- ウ. 自社で企画した商品を頻繁に売り出すことによって、商品のコストダウンを図る。

問4. 下線部(d)によってコンビニが期待する効果は何か、次のなかから最も適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 地域に密着した店となり、顧客との親密度が高まり自店をPRしてもらうことができる。
- イ. コンビニの多忙な時期には、サービス関係の会社から人的な支援を受けることができる。
- ウ. 顧客の来店回数を増やすことで、他の商品も購入してもらうことができる。

⑨ 次の文章を読み、問いに答えなさい。

2009年は、個人消費が冷え込み、売り上げが減少した企業が続出した。そのなかでも百貨店や総合スーパーの苦戦が目立ち、閉店や大規模な人員削減が相次いでいる。長期低迷を続ける最大の理由として、衣料品が売れなくなったことがあげられる。

業績が順調なとき、それぞれの(a)業態では、粗利益の高い衣料品が利益を多く生み出し、それ以外の商品の赤字を補うという構造が続いていた。ところが、百貨店や総合スーパーの衣料品は売れなくなり、高収入を維持するビジネスモデルは崩れてしまった。

ところで、百貨店、総合スーパーの衣料品が売れなくなった理由は、他の業態の店舗で衣料品を購入する消費者が増えているからであると考えられる。駅ビルやロードサイド店舗、ショッピングセンター、(b)流行遅れ商品や実用上は問題のない欠格品を処分するための店舗が集まっている商業施設などが全国各地に増えている。また、インターネット販売も拡大しており、消費者が衣料品を購入する選択肢が多くなっている。

さらに、(c)家計の衣料品の支出が下降を続けていることも、衣料品が売れなくなった理由である。総務省の家計調査によると、被服とはき物に対する家計の支出は、1992年から2009年までの17年間に4割以上の減少となっている。近年、東京・銀座の百貨店激戦区では、低価格の衣料品を提供するファストファッション専門店が進出している。

一方、各地域にとって百貨店の撤退は、百貨店だけの問題ではない。(d)百貨店や専門店が集積し、各周辺地域から消費者を集め、繁華街を形成するような商店街から百貨店が撤退すると、その商店街はもちろん周辺地域にとって、制服のオーダーや中元・歳暮などの百貨店ならではの商品が購入できなくなる。また、百貨店の撤退で失われる雇用や税収などのさまざまな悪影響が考えられる。

このような状況のなか、各百貨店では、新たな構造改革に踏み切っている。また、百貨店が撤退した各地域では、地域活性化への街づくりとして、新たな方策を見出そうとしている。

問1. 下線部(a)の説明として、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 取り扱う商品によって小売商を分類する基準
- イ. 営業方法の特徴によって小売商を分類する基準
- ウ. 店舗規模の大きさによって小売商を分類する基準

問2. 下線部(b)を何というか、カタカナを補って正しい用語を完成させなさい。

問3. 本文の主旨から、下線部(c)の背景として、次のなかから最も適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 長期不況のなかで、衣料品の購入数量が低迷していると同時に、百貨店や総合スーパー以外の企業による低価格での衣料品販売が影響している。
- イ. 長期不況のなかで、食料、住居、家具・家事用品に対する支出が高まり、衣料品への支出が相対的に減ったことが影響している。
- ウ. 長期不況のなかで、衣料品メーカーが素材や設備にかかる資金を抑え、衣料品の品質があまり向上していないとともに、供給量の減少が影響している。

問4. 下線部(d)を何というか、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 近隣型商店街
- イ. 地域型商店街
- ウ. 広域型商店街

10 次の文章を読み、問いに答えなさい。

東京の築地周辺に広がるいわゆる「築地場外市場」は、グルメブームの昨今、国内外から多くの観光客を集め、かつてないほどの賑わいを見せている。しかし、その一方で本来の築地市場では、廃業する仲卸業者が近年増加している。

築地市場は、取引金額がわが国最大の卸売市場である。主な取引商品は水産物である。築地市場は(a)各地の出荷者から販売を委託された大規模な卸売業者と、そこから商品を仕入れ買出人に販売する仲卸業者から成り立っている。買出人とは鮮魚店やスーパーなどの小売店、すし店、料理店などの飲食店のことである。卸売業者から仲卸業者がセリや入札といった方法で商品を仕入れる姿や、目利きといわれる買出人が仲卸業者の店舗の商品を見て回る姿は、テレビでもよく目にする。そのような(b)仲卸業者が築地市場の売上高の低迷により減少している。

しかしながら、(c)生産者と小売業者の間に卸売業者が存在することによる利点も多く、もし卸売業者がなくなれば、小規模な小売業者にとっては死活問題である。と同時にわが国の多様な消費生活にも支障をきたすおそれがある。

このような状況のなか、仲卸業者のなかには海外の業者との取引や個人との直接取引に活路を見出そうとする動きもあるという。

問1. 下線部(a)を何というか、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

- ア. 産地卸商 イ. 集散地卸商 ウ. 消費地卸商

問2. 下線部(b)の原因として、次のなかから最も適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 生産者が大規模化し、小規模な小売業者にも商品を直接販売するようになったから。
イ. 規制緩和により、国内の各地に卸売市場が建設されたから。
ウ. 生産者から、商品を直接仕入れる大規模な小売業者が増加したから。

問3. 下線部(c)の説明として、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 卸売業者が存在することにより、取引回数が減少するので、小売業者は効率的に商品を揃えることができる。
イ. 卸売業者が存在することにより、中間マージンを低く抑えられるので、小売業者は安い費用で商品を揃えることができる。
ウ. 卸売業者が存在することにより、輸送経路が短縮されるので、小売業者は鮮度の高い商品を揃えることができる。

II 次の文章を読み、問いに答えなさい。

私たちは、商品を店頭で購入する人が多いが、自宅で商品を購入する通信販売を利用する人も多くなってきている。

例えば、テレビで商品の特徴を説明し、操作して見せたり、商品を購入した人の感想を見せたりして、商品の購入を促す(a)テレビショッピングが増えてきている。普段目にしていない商品の知らなかった特徴や特別な使い方などに驚くこともある。

また、インターネットの普及とともに、インターネット販売も私たちの生活に定着している。それに合わせ、インターネット販売業者間の競争も激しくなっている。それぞれの業者にとっては、いかに自社のwebサイトに消費者を誘導するかが課題となっている。インターネット上での広告としては、webページ上に表示されているバナー広告のほかに、(b)検索サイトを利用した際に、検索結果に連動して関連する企業や商品の情報を表示する広告が増えている。これは、検索結果に連動しているため、消費者が広告主のwebページにアクセスする割合が高い。さらに、webページから直接注文できるようにしているものもあり、売り上げを伸ばしている。

インターネット販売が伸びてきている理由の一つに、消費者からの信頼性が向上していることがあげられる。(c)各通販会社は商品やサービスについての消費者からのクレームに対して、迅速で丁寧に対応している。また、各通販会社が会員となって協会を組織し、通信販売の信頼性の向上に努めている。

通信販売全体の売上高は4.3兆円にも上り、百貨店の売上高に近づきつつあり、今後も伸びていくことが予想される。

問1. 下線部(a)の特長として、次のなかから最も適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 文字と写真により、消費者が商品を比較・検討することができ、商品によっては売り上げを大きく伸ばすことができる。
- イ. 音声による商品の説明により、消費者の想像力を喚起することができ、商品によっては売り上げを大きく伸ばすことができる。
- ウ. 映像と音声により、消費者にインパクトのある広告を行うことができ、商品によっては売り上げを大きく伸ばすことができる。

問2. 下線部(b)の特長として、次のなかから最も適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 消費者の目につきやすい位置に表示することで、興味や関心に対し即座に対応できる。
- イ. 消費者に対し大きな画像で表示することで、新たな需要を掘り起こすことができる。
- ウ. 消費者の興味に関係なく無作為に表示し、継続的に情報を送ることができる。

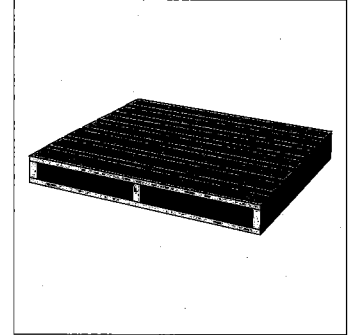
問3. 下線部(c)の対応として、次のなかから最も適切なものを一つ選びなさい。

- ア. クレームの申し出があった場合には、マスコミにまで伝わらないように、クレームの当事者だけで早く処理を行う。
- イ. クレームの申し出があった場合には、すぐに消費者のもとに駆けつけ心より謝罪し、他には口外しないように願う。
- ウ. クレームの申し出があった場合には、消費者からの貴重な声として、今後の商品やサービスの改善に積極的に生かす。

12 次の文章を読み、問いに答えなさい。

物流は、消費生活や地域経済、環境問題など社会に大きな影響を与えている。そのため、より迅速かつ効率化するために物流の高度化を進めることが重要である。そこで、輸送・保管・(a)荷役・包装・在庫管理などの各活動を組み合わせるとともに、地域経済や交通および社会環境へ適応できる、物流システムの構築を行っている。

また、物流を高度化するために、(b)物流過程における商品の荷姿を標準化し、物流活動を一貫的に行うシステムがある。そのなかの一つとして、(c)荷物の保管や倉庫内の作業、荷物の輸送に利用される J I S によって規格化された右図のような台に商品を乗せたまま出発地から到着地まで輸送・保管するというものがある。このように、貨物を一定の単位にまとめ、フォークリフトを用いて荷物を台ごと積み替えたり、そのまま店頭に並べたりすることで輸送作業の効率化をして、物流全体の高度化を図っている。



一方、近年では物流によって大都市圏の環境に大きな影響を及ぼしている。そのため、政府は、(d)モーダルシフト政策を積極的に推し進め、最適な物流システムの構築を目指している。

このように、さまざまな条件を整備していくことが物流の高度化を進め、消費生活や環境への対応、地域経済への貢献に近づいていくのである。

問 1. 下線部(a)の説明として、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 切断・組み立て・値札付け・詰め合わせなど、商品の付加価値を高める活動
- イ. 入出荷・積み替え・積み降ろし・運搬・配置替えなど、輸送と保管を結びつける活動
- ウ. 商品の受発注処理や物流活動の制御・計画など、商品の流れを管理する活動

問 2. 下線部(b)を何というか、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

- ア. ユニットロードシステム
- イ. ピギーバックシステム
- ウ. トレーラーシステム

問 3. 下線部(c)を何というか、カタカナで正しい用語を記入しなさい。

問 4. 下線部(d)の説明として、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 出発地から到着地までの積み替え作業を省くために、トラック・鉄道・船舶などの輸送機関を単一に行うこと。
- イ. トラック・鉄道・船舶などの輸送機関の偏りをなくすために、調整を取りながら輸送機関を平等に活用すること。
- ウ. 交通渋滞や大気汚染などを解消するために、基幹輸送をトラック輸送から船舶や鉄道などの輸送機関に切り替えること。

13 次の文章を読み、問いに答えなさい。

私たちの生活には、予測できない危険がたくさんあり、損害を被ったときのために保険制度が整備されている。これは、企業や家庭が資金を出し合い、それらを積み立てることで損害の補償をするという相互扶助の制度である。そして、保険契約者は、加入手続きの際に保険の対象物についての(a)告知義務が課されており、保険内容は、保険約款に基づき定められている。特に、流通活動を安心して行うためには損害保険が大きな意味をもっており、多くの保険がある。

例えば、(b)海上輸送は、国内の臨海工業地帯と消費地を結び、主に原油や鉄鋼、化学製品を取り扱う重要な輸送手段であり、海上事故によって生ずる損害は企業の大きな痛手となる。そこで整備されているのが海上保険であり、沈没、座礁、火災、衝突、その他の海上事故によって被る損害を補償する保険である。

海上保険の一例として、貨物を積み込んだ船が座礁してしまった場合、(c)船自体が物的損害を受け、付属している燃料、食料、消耗品などの費用も回収できないため、これらの損害に備えるための保険が整備されている。また、免責事項としては、保険契約者の故意・重大な過失、不適切な梱包などがある。

このように、海上保険は海上輸送における船舶や企業の経済活動の損害補償をするとともに、物流安定の大きな役割を担っている。

問1. 下線部(a)の説明として、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 保険契約者または被保険者が、契約時に保険契約の内容について、保険者から説明を受けなければならない義務。
- イ. 保険契約者または被保険者が、契約時に重要な事実および重要な事項について、保険者に真実を知らせなければならない義務。
- ウ. 保険契約者または被保険者が、契約後に契約内容に変更が生じた場合、保険者に知らせなければならない義務。

問2. 下線部(b)の特徴として、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 一度に大量の貨物輸送が可能で、輸送速度は遅いが、輸送単価は低い。
- イ. 少量で小型の貨物のみを扱うため、輸送速度がとても速いが、輸送単価が高い。
- ウ. 大量輸送が可能で、輸送時間が正確で二酸化炭素の排出量が少なく、環境にやさしい。

問3. 下線部(c)の保険を何というか、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 運送保険 イ. 貨物海上保険 ウ. 船舶保険

14 次の文章を読み、問いに答えなさい。

こんにちの社会では、消費者のニーズに迅速かつ、きめ細かな対応をとることが求められている。そのため各企業では、流通情報ネットワークシステムを導入することで、商品の動きや販売状況および消費者の購買動向に関する情報を管理・分析し、流通に役立てている。そのなかの一つとして、(a)EDI (Electronic Data Interchange)を利用し、生産者や卸売商・小売商の取引において、情報ネットワークを通じて事務処理の効率化、正確性の向上などを行うことができるようになった。

例えば、総合スーパーのA社は、生産過程や流通過程での非効率や業務の重複を排除する体制を作り上げるために大手メーカーのB社と連携している。相互の企業において、(b)販売動向や受発注・納品・請求などの取引情報の共有化を図り、効率化を実現することで、消費者の満足度の向上を図っている。

情報通信技術の進展に伴い、インターネットを利用することで、自由に生産者や売買業者をさがして行う電子商取引が可能となった。そのため、(c)企業と企業間の取引および各企業どうしでの連携や協力体制が簡単に、かつ素早くできるようになった。これは企業間のみならず、企業と消費者の取引へと広がりを見せている。

今後は、このような情報社会において、適切な情報を迅速に入手して、分析・判断し、伝達できる即応力が重要になってくる。

問1. 下線部(a)の説明として、次のなかから最も適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 人工衛星からの電波を受信することで、商品の輸送経路や場所情報を瞬時に把握し、安全管理を行うためのシステム。
- イ. 商品についているバーコードを読み取り、商品ごとの販売動向をコンピュータに記録することで、適切な受発注や在庫管理を行うためのシステム。
- ウ. 企業や行政機関の情報交換にネットワークを利用し、受発注をはじめとした伝票や文書のやりとりを電子データで自動的に行うためのシステム。

問2. 下線部(b)のような方法を何というか、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

- ア. E O S (Electronic Ordering System)
- イ. E C R (Efficient Consumer Response)
- ウ. I T S (Intelligent Transport System)

問3. 下線部(c)のような電子商取引の形態は何と呼ばれているか、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

- ア. B to B イ. B to C ウ. C to C

15 次の文章を読み、問いに答えなさい。

現代社会は、常に新しいビジネスを求め変化している。それだけ誰もが新しいアイデアや技術、考え方をきっかけに、ビジネスに取り組む可能性を秘めている。このような冒険心をもって起業するビジネスをベンチャービジネスという。

ベンチャービジネスは、(a)独立した起業家が中心となって独自の経営を行う独立ベンチャーと企業内から社員が新規事業を提案して承認される企業ベンチャーに分けられる。このようなベンチャービジネスを支援する体制として、いろいろな取り組みがなされている。

第一に、資金面では、(b)ベンチャーキャピタルやエンジェル、ベンチャー財団による支援がある。また、(c)株式公開における証券市場による支援がある。

第二に、技術面では、大学などの研究成果や技術などを公開し、産業への移転を促進する支援が行われている。

第三に、施設・設備、人的面では、地方自治体などが、割安で研究室や事務所などを提供している。民間の企業も各分野の専門家を派遣したり、会計や法務などの代行サービスを提供したりしている。

現在におけるベンチャービジネス発展の背景の一つとして、大手企業による経営のスリム化がある。また、コスト削減と人材の有効活用の取り組みとしては、(d)業務の一部を外部の業者に委託することがある。その委託先としてベンチャービジネスがあげられる。今後もベンチャービジネスの活動に期待したい。

問1. 下線部(a)に示された起業家を何というか、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

- ア. インtrapreneur イ. Entrepreneur ウ. Developer

問2. 下線部(b)の説明として、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

- ア. ベンチャービジネスを支援する、国や各都道府県によって設立された法人のこと
イ. ベンチャービジネスを支援する、民間の融資企業のこと
ウ. ベンチャービジネスを支援する、個人投資家のこと

問3. 下線部(c)の内容として、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 証券取引所において、株式の公開基準を緩和した新しい証券市場を設立し、設立後間もない企業でも株式の公開ができるようにした。
イ. 証券取引所において、既存の証券市場の株式公開基準を緩和して、設立後間もない企業でも株式の公開ができるようにした。
ウ. 証券取引所において、新技術または新たなビジネスモデルを有する企業を対象に既存の証券市場の株式公開基準を緩和し、設立後間もない企業でも株式の公開ができるようにした。

問4. 下線部(d)を何というか、カタカナで正しい用語を記入しなさい。

第25回商業経済検定試験
商品と流通模範解答

(各2点)

秘

得点

	問1	問2	問3
①	中	食	イ ウ

	問1	問2	問3
②	ウ	ア	イ

12

	問1							問2	問3				
③	グ	リ	ー	ン	コ	ン	シ	ユ	ー	マ	ー	ア	ア

6

	問1	問2	問3
④	ア	ウ	ア

	問1	問2	問3
⑤	衰退期		ウ ア

12

	問1	問2	問3									
⑥	イ	イ	ユ	ニ	バ	ー	サ	ル	デ	ザ	イ	ン

6

	問1			問2	問3	問4
⑦	物	々	交	換	イ	イ ウ

	問1	問2	問3	問4
⑧	ア	ウ	イ	ウ

16

	問1	問2		問3	問4
⑨	イ	アウトレット		モール	ア ウ

	問1	問2	問3
⑩	イ	ウ	ア

14

	問1	問2	問3
⑪	ウ	ア	ウ

	問1	問2	問3	問4	
⑫	イ	ア	パレット		ウ

14

	問1	問2	問3
⑬	イ	ア	ウ

	問1	問2	問3
⑭	ウ	イ	ア

12

	問1	問2	問3	問4
⑮	イ	イ	ア	アウトソーシング

8

総得点 100

第25回商業経済検定試験

商品と流通解答用紙

得点

1	問1	問2	問3

2	問1	問2	問3

3	問1							問2	問3

4	問1	問2	問3

5	問1	問2	問3

6	問1	問2	問3						

7	問1			問2	問3	問4

8	問1	問2	問3	問4

9	問1	問2			問3	問4
		モール				

10	問1	問2	問3

11	問1	問2	問3

12	問1	問2	問3		問4

13	問1	問2	問3

14	問1	問2	問3

15	問1	問2	問3	問4		

受験場校		受験番号	
------	--	------	--

総得点	
-----	--